

# いよいよ グループ

## 手話で心の触れ合いを

### — ひまわり友の会 —



△口と手が一緒に動きます

手話サークル「ひまわり友の会」は、ろうあ者と健聴者との交流、手話通訳者の育成、ろうあ運動への参加を目的に昭和50年に結成されました。会員は現在、お母さんと一緒に来る3歳の幼児から80歳までの老若男女、55人です。

活動は、昼間部(火曜)と夜間部(木曜)に分かれ、週1回の定例会で手話学習やサマーキャンプの企画などをします。また、手話講習会の手伝い、福祉まつりへの参加にも積極的に取り組んでいます。

去年は、ろうあ協会の人たちと一丸となり、ろうあ者の通信手段となる公衆ファックス設置の署名を集め、新富士駅前と市役所前の電話ボックスに設置していただきました。これからもこの運動をさらに進めていきたいと思っています。

ことしは川崎市から、ろうあ者人形劇団「デフ・パペット・シアターひとみ」を呼んで、公演したいと考えています。

問い合わせ 保健婦人センター内  
ボランティアセンター ☎64-7100

ケムシに大切にしていた植木や草花の新芽や花芽を食べられ、悔しい思いをした人も多いと思います。でも、嫌われ者の虫たちも美しい姿と声で私たちを楽しませてくれる野鳥のえさとして重要な役割があります。また親になったが、よく見るときれいですよ。

### こちら編集室

## 富士の今と昔 ④8



今 次々と大きな建物が

昔 区画整理が始まったばかり



昭和三十七年ころの市庁舎南側です。近くにお住いの加藤勝さん(青島町)のお話。「昔は市役所の敷地も含めて、周囲はみんな田んぼだった。子供のころはゲンジボタルが乱舞していたし、カエルも大合唱していたね。農業用水路の『ちようちん堀』を年一回町内総出でさらったけど、大ナマズ、フナなどがたくさんとれて、みんなで食べたよ。この二十年で、周りは随分変わったね」

昭和四十七年

ころの市庁舎南

側です。近くに

お住いの加藤勝

さん(青島町)のお話。

「昔は市役所の敷地も含めて、

周囲はみんな田んぼ

だった。子供のころは

ゲンジボタルが乱舞

していたし、カエル

も大合唱していたね。

農業用水路の『ちようちん堀』

を年一回町内総出で

さらったけど、大ナマズ、

フナなどがたくさん

とれて、みんな

で食べたよ。この二十年

で、周りは随分

変わったね」



神戸小学校のお友だちは、自分や学校で体験したことを紙版画と絵にしました。二人の楽しかった思い出が伝わってきますね。



かみはんがで、スケートボードをやっているわたしをつくったよ。手足・くびをうごかしてくふうしたよ。かみのけを一本一本つくるのがたいへんだったよ。



あきやますみ



えんそくで、ふじ川へ行って石ひろいをしたよ。おもしろいかたちの石や、きれいな石を見つけたよ。ふじ川は、とてもひろくてたのしかったよ。



にのみやさおり